

# U.S. Indicators

発表日: 2024 年 8 月 2 日 (金)

## 米国 製造業はFRBの利下げ待ち(7 月ISM製造業)

～先行き不透明感による投資抑制を受け、雇用、生産、新規受注、在庫縮小～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24 年 7 月の I S M製造業景気指数 (季節調整値) は、46.8 (前月 48.5) と市場予想中央値の 48.8 (筆者予想 49.6) への上昇に反して、前月比 1.7%低下した。雇用、生産、新規受注、在庫が縮小する形で、米製造業部門の縮小ペースが加速したことを示した。ただし、米景気拡大の続いた 23 年と同水準を維持するなど、米景気全体の悪化を示していない。

発表文は「現在の金融政策やその他の状況によって、企業が設備投資や在庫投資に消極的になり、需要が引き続き低迷している」との見方を示した。高い水準での政策金利据え置き長期化、混乱する大統領選等を背景とした先行き不透明感の高まり等が、製造業の投資活動に悪影響を及ぼしている。米選挙の不透明感が当面続くもと、製造業は F R B の利下げへの期待を強めている。

7 月の構成項目別の前月からの変化では、入荷遅延が上昇した一方、雇用、生産、新規受注、在庫が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延が前月比 +0.56%pt の押し上げ寄与となった一方、雇用が前月比▲1.18%pt、生産が前月比▲0.52%pt、新規受注が前月比▲0.38%pt、在庫が前月比▲0.18%pt の押し下げ寄与となった。

構成項目の水準では、入荷遅延が 50 を上回った一方、新規受注、雇用、生産、在庫が 50 を下回ったままとなり、縮小ペースの加速を示した。入荷遅延は 52.6 (前月 49.8) と遅延を示す水準に上昇したが、需要の強さによるものではなく、価格上昇にはつながらない。サプライヤーの生産能力には余裕があるものの、企業が購入した材料在庫の管理をサプライヤーにより依存するようになったため、サプライチェーンでの負担が増え、納入が鈍化した。

雇用は、レイオフ、自然減、採用凍結による人員削減によって、増加した業種数が 2 業種 (前月 5 業種) にとどまり、43.4 (前月 49.3) まで低下した。生産は、在庫削減の動きにより 50 を下回っている。生産の拡大した業種は 18 業種中 4 業種 (前月 8 業種) にとどまった。新規受注は、金利の高止まり、コスト上昇等を背景とした景気の先行き不透明感の強いなか、50 を下回っており、拡大した業種は 18 業種中 6 業種 (前月 6 業種) にとどまった。在庫は、景気の先行きに対する慎重な見方を背景に 44.5 (45.4) と低い水準に低下している。

サブ項目では、輸出受注 D I が 49.0 (前月 48.8) と輸出の減少幅縮小を示した。また、輸入 D I は 48.6 (前月 48.5) と輸入の減少ペース鈍化を示した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、52.9 (前月 52.1) と小幅上昇、コスト上昇ペースの鈍化の動きが足踏みしたことを示した。商品別では、原油、天然ガスが下落した一方、アルミニウム、プラスチック樹脂、電気部品、海上輸送等の価格が上昇した。供給不足品では、電気部品に加えて、電子部品、半導体などが挙げられた。

## ISM製造業景気指数

|       | 総合   | 新規受注 | 生産   | 雇用   | 在庫   | 入荷遅延 | 受注残  | 仕入価格 | 輸出受注 | 輸入   |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 23/07 | 46.5 | 47.3 | 48.3 | 44.4 | 46.1 | 46.1 | 42.8 | 42.6 | 46.2 | 49.6 |
| 23/08 | 47.6 | 46.8 | 50.0 | 48.5 | 44.0 | 48.6 | 44.1 | 48.4 | 46.5 | 48.0 |
| 23/09 | 48.6 | 49.2 | 52.5 | 51.2 | 45.8 | 46.4 | 42.4 | 43.8 | 47.4 | 48.2 |
| 23/10 | 46.9 | 46.2 | 50.0 | 47.1 | 43.6 | 47.7 | 42.2 | 45.1 | 49.4 | 47.9 |
| 23/11 | 46.6 | 47.8 | 48.8 | 46.1 | 44.3 | 46.2 | 39.3 | 49.9 | 46.0 | 46.2 |
| 23/12 | 47.1 | 47.0 | 49.9 | 47.5 | 43.9 | 47.0 | 45.3 | 45.2 | 49.9 | 46.4 |
| 24/01 | 49.1 | 52.5 | 50.4 | 47.1 | 46.2 | 49.1 | 44.7 | 52.9 | 45.2 | 50.1 |
| 24/02 | 47.8 | 49.2 | 48.4 | 45.9 | 45.3 | 50.1 | 46.3 | 52.5 | 51.6 | 53.0 |
| 24/03 | 50.3 | 51.4 | 54.6 | 47.4 | 48.2 | 49.9 | 46.3 | 55.8 | 51.6 | 53.0 |
| 24/04 | 49.2 | 49.1 | 51.3 | 48.6 | 48.2 | 48.9 | 45.4 | 60.9 | 48.7 | 51.9 |
| 24/05 | 48.7 | 45.4 | 50.2 | 51.1 | 47.9 | 48.9 | 42.4 | 57.0 | 50.6 | 51.1 |
| 24/06 | 48.5 | 49.3 | 48.5 | 49.3 | 45.4 | 49.8 | 41.7 | 52.1 | 48.8 | 48.5 |
| 24/07 | 46.8 | 47.4 | 45.9 | 43.4 | 44.5 | 52.6 | 41.7 | 52.9 | 49.0 | 48.6 |

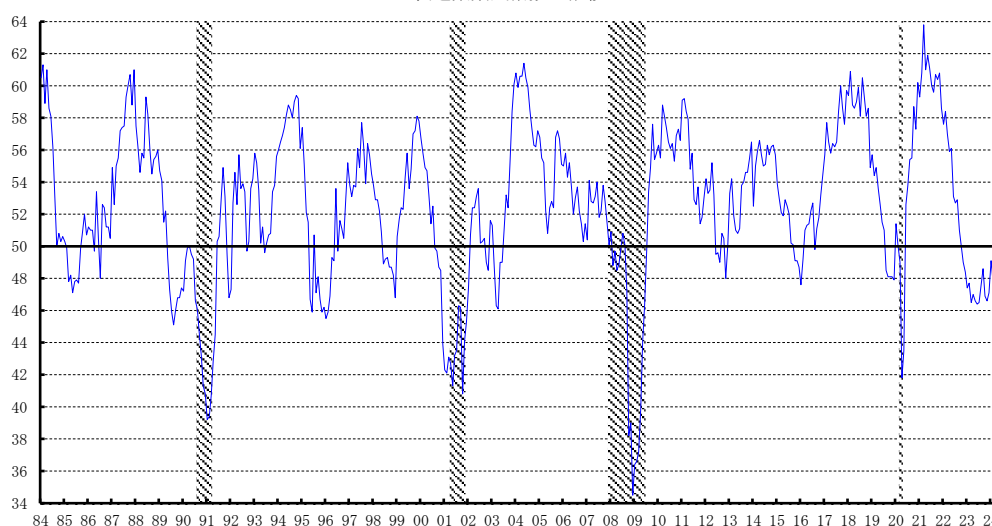
(出所) The Institute for Supply Management

7月に拡大した業種は、全18業種のうち印刷・関連サポート活動、石油・石炭、その他製造業、家具・同関連、非鉄の5業種と前月の8業種から減少した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種はゼロとなった。

一方、縮小した業種は、一次金属、プラスチック・ゴム製品、一般機械、電気設備・部品、輸送機器、加工金属、食品・飲料・タバコ、木材製品、紙製品、化学製品、コンピューター・電子機器の11業種と前月の9業種から増加した。なお、繊維、アパレル・皮革製品は前月比横ばいとなった。

今後、製造業部門の活動は、金融政策や選挙などの先行き不透明感の高まりを背景とした需要の鈍化によって年末にかけて調整を続けると予想される。

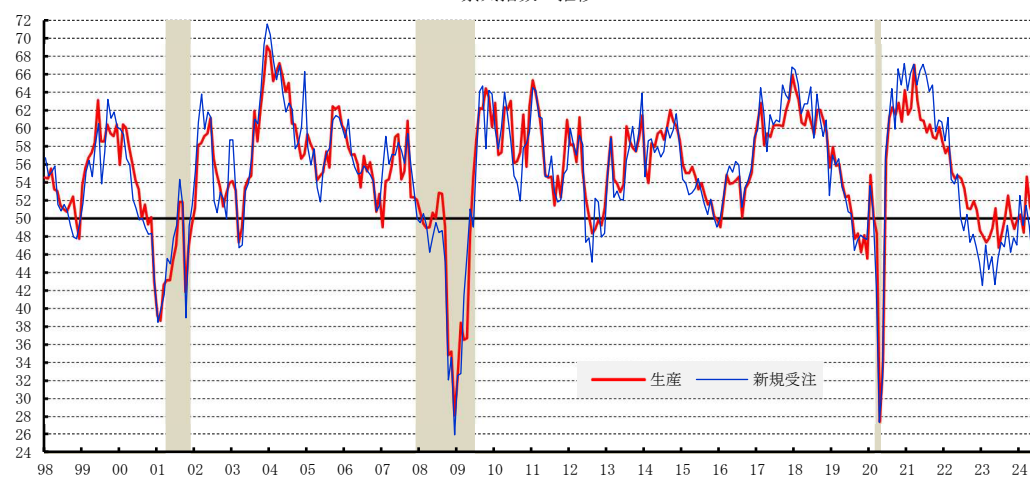
ISM製造業景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期。

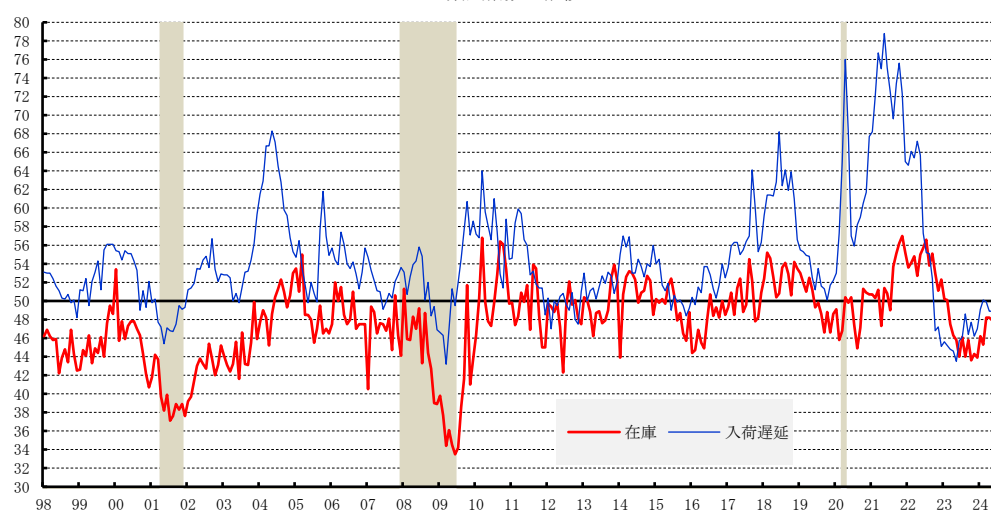
ISM景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャドー部は景気後退期

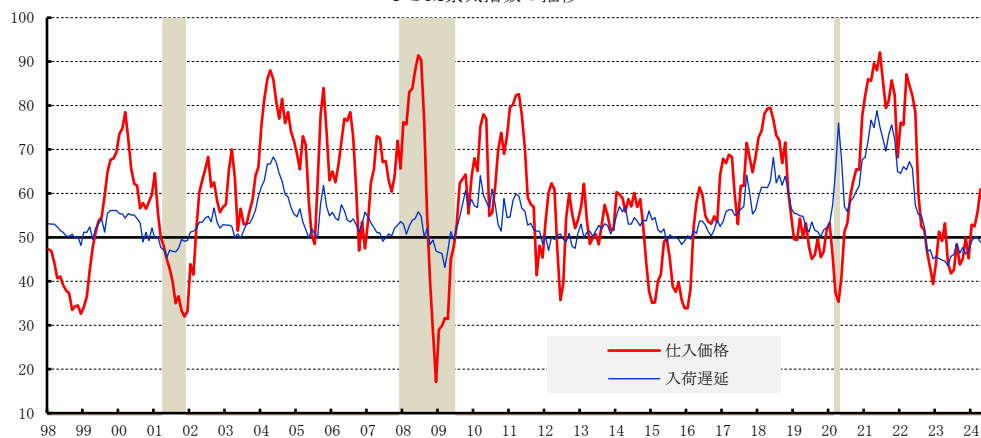
ISM景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

